

6 中心市街地まちづくり会議概要

平成22年度

第1回
11月5日(金)

- まちづくり会議設置要綱について
- 会長及び副会長の選出について
- 会議の進め方について
- 中心市街地における取組について

第2回
1月12日(水)

- これまでのまちづくりの現状及び課題について

平成23年度

第3回
5月16日(月)

- 中心市街地活性化への意見交換
(まちづくり会議意見マップの作成)

第4回
7月14日(木)

- 中心市街地活性化への意見交換
(まちづくり会議意見マップでの検討)

第5回
10月7日(金)

- 意見の取りまとめ方(提言書の作成)について

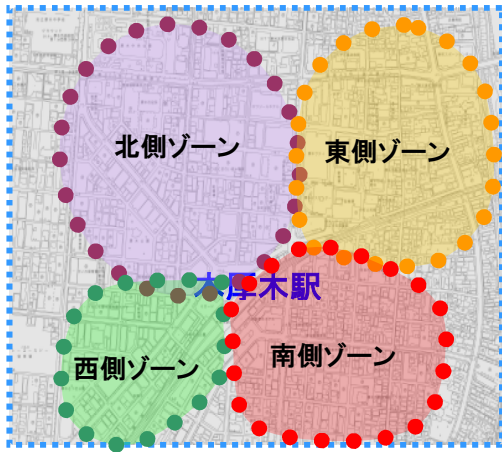
第6回
11月24日(木)

- 中心市街地まちづくり提言書(案)(まとめ)

中心市街地まちづくり提言へ

会議経過①

■ゾーン別 意見等の整理



全体ゾーン

- ・文化芸術面では、文化会館が役に立つと考えられる。文化会館は立派な施設であり、今以上に集客力を増やすことができないのか。文化会館へは市外からの利用者も多いため、利便性向上のため、駅からシャトルバスを運行することにより利用者も増えるのではないかと
- ・駅を降り、街を歩きながら厚木の街はきれいな街、気持ちの良い街と思っていただき、また来たくくなるようなイメージを持ってもらえるようなまちづくりが必要である
- ・他市から人を呼び込むためにはPRや情報提供が不足している。広報による情報提供もなされているが、情報の内容や提供の方法にも工夫が必要である
- ・何かを新たにつくるといよりは、厚木の企業や大学との提携により、今ある環境を生かし、活用しながらまちづくりを進めていきたい
- ・人を集めるためには、駅へのアクセス道路の整備を行い、駅利用の向上性を図り利便性を高める必要がある
- ・近隣市町村との連携を図り、市が発展するために広域拠点性の強化が必要である

東側ゾーン

- ・メルヘンチックな銅像・店舗を配置して魅力的な通りにする
- ・土地の高度利用を図る
- ・公共施設の見直し再編が必要、機能の統合等による効率的な土地利用を図る
- ・図書館の利便性が高く、再編に伴う検討が必要である
- ・神社などの昔の街なみがある地区である
- ・既存施設を再整備し、新たな商業施設を誘致する
- ・職住近接の暮らしを考えた整備が必要である
- ・企業立地に向けた支援策を考え、雇用を促進する
- ・歴史上の人物の銅像を配置して、歩いて歴史を学べる通りにする

西側ゾーン

- ・観光バス・企業バス等のバスターミナルの整備を行う
- ・個人の送迎用一時駐車スペースを確保する
- ・花の公園は、まちの活性化につながる適地にあるためイベント等で活用する
- ・大学等の学生が常時利用できる施設を設置する

南側ゾーン

- ・まち歩きの動線を整備する（オープンカフェの配置、アメニティ空間の整備）
- ・駅南口に多機能ビルを整備する
- ・新たにペDESTリアンデッキを整備して、人と車の分離を行う
- ・既存住宅地であり、託児施設や子育て支援施設が存在する地区である
- ・しゃれた店舗が点在しており、賑わいところとしても考えられる
- ・個人店舗が多いため、大規模な事業は適さない

北側ゾーン

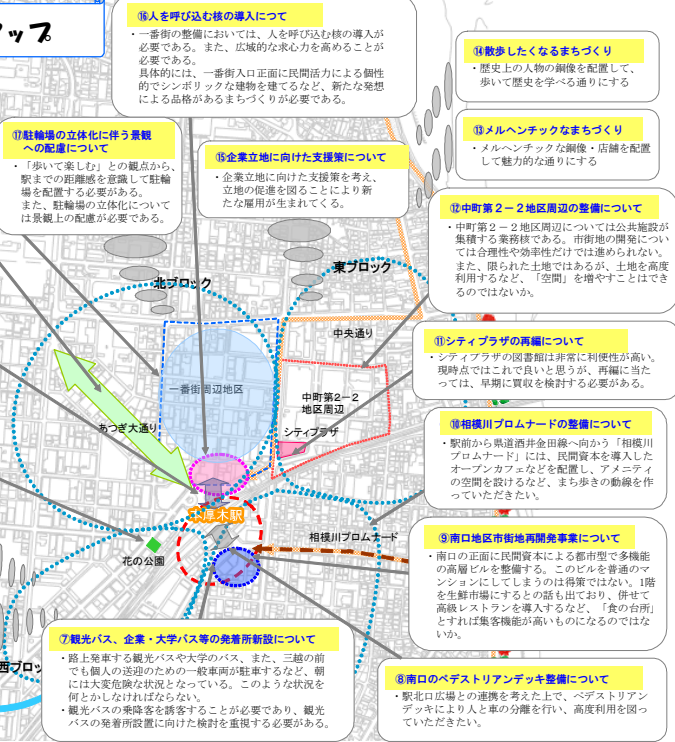
- ・駐車場を活用した屋台の出店や、イベントを定期的開催する
- ・歩きやすい街にするため、トランジットモール化する
- ・駅前には人を呼び込む核の導入が必要（シンボリックな建物の建設）
- ・駅舎内の回遊性の向上を図り、商店街との連携を進める
- ・駐輪場を整備する
- ・個人店舗の配置と、特徴のあるまちづくりを進める
- ・商業地でも空地が多く、マンションが建設されている
- ・北ブロックの波及効果により他ブロックも活性化させる

会議経過②

まちづくり会議意見マップ



- ①商店街各店舗による一番街の駐車場への屋台等の出店について**
 - 一番街の駐車場を活用し、商店各店舗が屋台等を出店するなど、来店者のみならず店舗オーナーも時間を楽しむことができるイベントについて、期間を空けずに開催する。
- ②あつぎ大通りのトランジットモール化について**
 - 歩きやすいまちにすべく、あつぎ大通りをトランジットモールとしてはいかがか。
- ③駅舎の抜本的改革と商店街の連携について**
 - 駅舎の抜本的な改革が必要である。現在の駅舎には有名店やアクション系店舗が少ない。また、女性や若者を対象とした飲食店も少ない状況である。これは、一番街と同様の状況であると言える。東口の改札を出た通りは目抜き通りである。この通りを改革し、中央改札口と連携しながら駅の中回遊性と滞在性を図り、賑わいを商店街に繋げていただきたい。
- ④花の公園のイベント活用について**
 - 花の公園はまちの活性化に繋がる適地であり、ジャズフェスティバルや大道芸などのイベントを実施するなど、文化・芸術性を高めておしよれまちのイメージを醸し出してほしい。
- ⑤市内大学の学生が利用できる施設整備について**
 - 市内に立地している大学等の学生が常時利用できる施設を考えてほしい。駅前であれば交通の便も良く、利便性も高いと思われる。
- ⑥文化会館へのシャトルバス運行について**
 - 文化・芸術面では、文化会館が役に立つと考えられる。文化会館へは市外からの利用者も多いことから、利便性向上のため、駅からシャトルバスを運行することにより、利用者も増えるのではないか。このような小さな事から始めていかないと、文化・芸術はまちづくりに貢献していない。



- ⑦観光バス、企業・大学バス等の発着所新設について**
 - 路上発着する観光バスや大学のバス、また、三越の前でも個人の送迎のための一般車両が駐車するなど、朝には大変危険な状況となっている。このような状況を何とかしなければならぬ。
 - 観光バスの乗降客を誘客することが必要であり、観光バスの発着所設置に向けた検討を重視する必要がある。
- ⑧南口のベストリアンデッキ整備について**
 - 駅北口広場との連携を考えた上で、ベストリアンデッキにより人と車の分離を行い、高度利用を図っていただきたい。
- ⑨南口地区市街地再開発事業について**
 - 南口の正面に民間資本による都市型で多機能の高級ビルを整備する。このビルを普通マンションにしてしまうのは得策ではない。1階を生鮮市場にするとの話も出ており、併せて高級レストランを導入するなど、「食の台所」とすれば集客機能が高いものになるのではないか。
- ⑩相模川プロムナードの整備について**
 - 駅前から県道酒井金田線へ向かう「相模川プロムナード」には、民間資本を導入したオープンカフェなどを配置し、アメニティの空間を設けるなど、まち歩きを誘客を作っていただきたい。
- ⑪シティラザの再編について**
 - シティラザの図書館は非常に利便性が高い。現時点ではこれで良いと思うが、再編に当たっては、早期に買収を検討する必要がある。
- ⑫中町第2-2地区周辺の整備について**
 - 中町第2-2地区周辺については公共施設が集積する業務核である。市街地の開発については合理性や効率性だけでは進められない。また、限られた土地ではあるが、土地を高度利用するなど、「空間」を増やすことはできるのではないか。
- ⑬メルヘンチックなまちづくり**
 - メルヘンチックな画像・店舗を配置して魅力的な通りにする
- ⑭散歩しやすくなるまちづくり**
 - 歴史上の人物の銅像を配置して、歩いて歴史を学べる通りにする
- ⑮歩人を呼び込む核の導入について**
 - 一番街の整備においては、人を呼び込む核の導入が必要である。また、広域的な求心力を高める必要がある。具体的には、一番街入口正面に民間活力による個性的でシグナリングな建物を建てるなど、新たな発想による品格があるまちづくりが必要である。
- ⑯企業立地に向けた支援策について**
 - 企業立地に向けた支援策を考え、立地の促進を図ることでより新たな雇用が生まれてくる。
- ⑰駐輪場の立体化に伴う景観への配慮について**
 - 「歩いて楽しむ」との観点から、駅までの距離感を意識して駐輪場を配置する必要がある。また、駐輪場の立体化については景観上の配慮が必要である。



会議経過③



厚木市中心市街地まちづくり会議

まちづくりテーマ:

～ 歩いて楽しめる快適なまち ～

■デザインを取り入れた街づくり

- ストリートデザインの統一
 - ・人が立ち寄りたくなる店舗
 - ・景観を意識した街なみ
 - ・緑、土、水を配置した通りの形成
- 空間デザインの有効利用
 - ・施設間の利便性を高める道路等の改善
 - ・人の回遊性や滞留性を考えた空間整備
 - サインによる利便性の向上
 - ・人が立ち寄りやすく利用しやすい案内標識



一番街通り

■相模川を利用した街づくり

- ・市街地辺境の自然をいかした散歩道やサイクリングロード、気軽に楽しめるバーベキュー場等の整備
- ・河川までのアクセスロードの案内や魅力アップ
- ・特色ある商店街（小江戸風商店）や旧跡（厚木神社）等の活用



相模川周辺



駅前案内板

■文化芸術を活かした街づくり

- ・市街地にホールなどを配置し、活動の場を提供
- ・市内に芸術作品等を配置し、気軽に触れ合うことのできる環境を整備
- ・歴史に対する知識を深めるため、市内で歴史を学べるよう銅像等を配置



なからよう大通り～中央通り 【モニュメント】



■駅周辺の快適性を高める街づくり

- ・中央図書館の拡大
- ・中心市街地の貸借業務の統合
- ・公共施設の統合や再配置
- ・人工地盤等のオープンスペースの活用
- ・あつぎ大通りのトランジットモール化の有効性の検証
- ・本厚木駅舎のリニューアルと、周辺商店街への広がり
- ・バスや自転車交通の快適性の向上
- ・観光バス、企業バス等の駐停車場の整備
- ・駐歩場の活用



空地活用例（佐賀市内）



シティプラザ



あつぎ大通り



本厚木駅東口

■その他の街づくり

- ・七沢・飯山温泉、大山、宮ヶ瀬の活用
- ・ソニー、日産等企業従業員の取り込み
- ・各通りにテーマを持たせた仕掛けづくり

■市で進めている街づくり

- ・中町第2-2地区周辺整備事業（市有地を活用した先行エリア整備）
- ・本厚木駅南口地区市街地再開発事業
- ・本厚木駅東口地区地下道の有効活用
- ・一番街周辺地区整備事業
- ・厚木パークビル（旧パルコ）の再生



中町第2地区周辺



厚木パークビル（旧パルコ）



中央通り【モニュメント】



■ 厚木市中心市街地まちづくり会議委員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	選出団体等
会 長	市 原 出	学識経験者
副会長	加 藤 仁 美	学識経験者
委 員	小 澤 透	公募による市民
委 員	佐 野 杏希子	公募による市民
委 員	関 戸 彰	住民自治組織の代表者
委 員	大久保 盛 造	住民自治組織の代表者
委 員	宮 嶋 實	住民自治組織が推薦する者
委 員	石 井 雅 美	住民自治組織が推薦する者
委 員	齊 藤 裕	商業等関係団体の代表者
委 員	安 藤 晴 美	商業等関係団体の代表者
委 員	増 田 秀 樹	商業等関係団体の代表者
委 員	西 田 光 孝	商業等関係団体の代表者
委 員	久保田 勤	交通事業者の代表者
委 員	三 木 健 明	交通事業者の代表者